



竹本こうじ通信

vol. 1

美しい町を次世代につなぐ
～世界に誇れる日出町へ!～

発行：竹本こうじ後援会「さち」

日出町で生まれ育った幼少期

私は、日出町豊岡地区に生まれ6人家族で育ちました。近所には年代の近いお兄さんやお姉さんが居て、仲良くしてくれ良く面倒を見てくれました。祖母とも同居していたので、生粋のおばあちゃん子でした。

祖母に連れられ、良く近所の御年配のお宅に出向き、可愛がってもらいました。今でもその当時を思い出すと、温かい気持ちになります。そんな日出町は、私にとってかけがえのない愛おしいふるさとです。

県外に出て気づいた日出町の素晴らしさ

私は18歳で生まれて初めて、進学のため県外へ出ました。慣れない都会での暮らしは寂しさもありましたが、良い経験となりました。その後、社会人となり町外での生活も過ごしましたが、人の温かさを感じる日出町が一番住みやすいと感じています。

県外から帰省し真っ先に向かうのは、私が世界で一番好きな場所の「城下の遊歩道」です。同級生たちと一緒に登下校した記憶が蘇り懐かしくなります。いつも変わらない海の景色も大好きです。

29歳で芽生えた地元への恩返しの思い

私は29歳の時、地元へ恩返しをしたいという強い思いを持つようになりました。両親や友達はどんな時もいつも変わらず、私を支え続けてくれました。

日出町に戻るたび、温かく迎えてくれる大切な人たち、そして愛すべきふるさとのため、美しい町を次世代へつなぎ、世界に誇れる日出町を創っていきたく強く思っています。

こうじ 竹本幸嗣のプロフィール

1986年12月14日 日出町生まれ 日出町在住
町立豊岡小卒/町立日出中卒/県立杵築高校卒/
関西外国語大学外国語学部スペイン語学科中退

劇団東俳に所属し俳優を目指す。

20代で日出町に帰京し介護の現場等で組織を学び政治の必要性を痛感する。
国会議員の秘書となり、東京で政治の世界を間近で勉強する。

ふるさと日出町のために自治体議員を志す。

■役職 地域政党おおいた。副幹事長

豊岡のサッカー少年団に
所属していました。
今でもマラソン大会に
参加してます!



[討議資料]